

第11回 まるごとけんこうフェアに参加してきました！



10月1日(日)、郡山市保健所にて「第11回 まるごとけんこうフェア」が開催されました。郡山市健康振興財団より直々に依頼があり、鍼灸治療体験ブースにて普及・啓発活動を行ってきました。

福島県鍼灸師会から9名、会員外1名、福島医療専門学校鍼灸学生3名、計13名の参加がありました。休日にも関わらず、昨年より多くの参加者があり、大変助かります。

昨年はやや小さめの研修室のような部屋で行いましたが、今年は多くの先生方にお手伝いいただけること、健康振興財団からベッド2台をお借りできたこと等もあり、大ホールをご準備いただけました！

部屋が広い分、ベッドの間隔にゆとりが生まれ、施術側だけでなく体験治療を希望される皆さんも、となりのベッドを気にすることなく、施術を受けていただけたと思います。



「まるごとけんこうフェア」の開始少し前から50名分の整理券が配布されましたが、10分足らずで配布終了。相変わらずの人気です。今年は健康振興財団側のアイデアで、「1番～8番までは9時30分から」「9番～15番までは10時00分から」というように、時間で区切ってくださったこともあり、整理券を持った方々が我先に！とごった返すことはありませんでした。もちろん、全ての希望者さんが時間通りに来ることはありませんでしたが、お互いに焦ることなく、気持ちよく、スムーズにできました。



鍼灸治療体験ブースに来場された男女の比率は 2 : 8 でした。症状は運動器疾患が多かったですが、夜驚を訴える中学生や中途覚醒に悩む老年の男性、お腹の冷えが気になる中年女性、特に気になる症状はないけれど鍼灸の効果を実感してみたいという方まで、様々でした。

こうした悩みや希望に対して、若手・ベテランの鍼灸師があたかも自分の治療院で接するかのごとく、優しく問診を始め、そして施術に集中していきます。「いま鍼を刺しましたよ」「え～いつ刺したの？」という会話が流れたり、気持ちのよい鍼と灸でリラックスしている方もいらっしゃいました。



配布された整理券、時間ごとに区切られたスケジュールのお陰で混乱もなく無事に終わることができました。

お弁当を食べた後に参加者全員で記念撮影。左後列から：三瓶和樹先生、吉見出先生（会員外）、鈴木暢弘先生、品川慶法先生、小沼慎介先生、白井和弥先生、鍼灸学生さん、中沢良平先生。前列左から：眞弓寿世先生、三瓶真一先生、櫻村由美子先生、鍼灸学生さん 2 名。以上、13 名で活動しました。

今回、会員外の先生と鍼灸学生さんを除く 9 名の先生方のうち、5 名の先生は郡山市外からのご参加でした。半数以上が郡山市ではないところからのご参加です。日曜診療がある中、休診にして来てくださった先生もおられました。

今回はほぼ郡山市民のためのイベントです。そこに地元・郡山市で活躍されている先生方のご参加が非常に少ない現状は大変寂しいですね。特に 30～40 代の先生方、1 年に 1 回のイベントへの参加も無理でしょうか？ ベテランの先生方が頑張っておられますよ。

日曜診療、家族サービス、研修・セミナー……参加できない理由は人それぞれですが、「ぶどう酒が水になった話」をご存知でしたら、もう一度思い出して欲しいと個人的に思う次第です。